

自動車環境計画 実施状況報告書 提出事業者一覧 計画期間:令和元年度～令和3年度

事業者名	所在	提出区分		業種			使用台数	令和2年度 燃料の使用状況				二酸化炭素の排出量(参考値)	温室効果ガスの排出の抑制等に関する目標の達成状況	温室効果ガスの排出の抑制等に関する目標を達成するために講じた措置	温室効果ガスの排出の抑制等に関する目標を達成することができなかった場合の理由
		条例第14条第1項	条例第14条第2項	トラック	バス	タクシー		揮発油 kl	軽油 kl	液化石油ガス(LPG) t	圧縮天然ガス(CNG) 千m3				
株式会社富士ミルク 山梨営業所	南アルプス市鏡中條川東4567-1		○	○			3		70.6			182	令和2年度 燃料使用量 70.56kl 走行距離 239,730km 燃費 3.39km/l 令和1年度 燃料使用量 69.81kl 走行距離 235,478km 燃費 3.37km/l	省燃費運転の奨励及び安全教育の実施 IT機器を使用したの運転状況の確認 車両定期点検の実施(オイル、エアエレメントなど) エコタイヤの装着、空気圧の適正管理	夏期日中帯の待機時間が増加によるアイドリング実施(エアコンオン) 車両の老朽化
三菱運輸株式会社	笛吹市石和町井戸221	○		○			30		448.0			1,156	令和2年度は平均燃費で前年を下回る結果となった 平成29年度 平均燃費 3.065km/ℓ 平成30年度 平均燃費 3.071km/ℓ 令和元年度 平均燃費 3.081km/ℓ 令和2年度 平均燃費 2.932km/ℓ	「グリーン経営」「Gマーク」の継続取得 デジタルタコグラフの活用。 速度制御及びアイドリングストップの徹底を図った 定期的なオイル交換の実施とエアエレメントの清掃・交換	繁忙期の配送12月～3月 小ロット近距離配送が主流になりつつあり 燃費が稼げる高速道路使用による長距離配送が 激減したこと起因するとみられる
平沢運輸株式会社	甲斐市竜王新町568		○	○			15		216.2			558	・2019年度 走行距離 656141km/給油量 226885ℓ 燃費 2.89km/ℓ ・2020年度 走行距離 616653km/給油量 216187ℓ 燃費 2.85km/ℓ ・前年対比で-0.04km/ℓで目標には届かなかった。	・燃費目標を定め、前年度対比で表している。 ・会社全体で前年比の0.2%削減に取り組んでいる。 ・エコドライブの推進、全社員への教育を実施。 ・平成28年、30年規制適合車の導入。	・車腹の大型化でトレーラー配送が増加した事による燃費の悪化。 ・配送圏の見直しにより、高速移動が減少した事。
株式会社東栄	甲州市塩山熊野46-1	○		○			46		431.6			1,114	平成30年度末に対して燃料1ℓ辺りの走行距離を1%改善する目標に対し、令和2年度末時点で、平成30年度に対して0.4%の改善となりました。	1.車両更新計画に基づく車両の順次更新と、新型の高機能な車両を使用 2.導入済みのデジタルタコメーターの更なる活用 3.余計な運転を減らすことによる温室効果ガスの削減	
株式会社流通サービス	埼玉県草加市遊馬町769-1	○		○			45	2.8	36.0	25.0		174	・計画に対し1%の削減を達成できなかった。	・コロナ禍においてエコアクションが実施できず。 ・年式の古い車輛の代替をすすめる。 ・EV車輛の導入を研究する。	・平均気温の上昇と、コロナ禍におけるエッセンシャルワーカーとしての稼働率増加